

第2学年〇組 生活科学学習指導案

令和〇年〇月〇日（曜）〇校時

指導教諭 〇 〇 〇 〇 印

指導者 〇 〇 〇 〇 印

1 単元 「夏野菜を育てよう」

2 目標

夏野菜を栽培する活動を通して、夏野菜の成長や変化の様子に関心をもって働きかけ、それぞれの野菜に合った世話の仕方があることや成長していることに気づき、夏野菜への親しみをもち、植物を大切にすることができるようにする。

3 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
単元の 評価規準		夏野菜を栽培する活動を通して、それぞれの夏野菜に合った世話に仕方があることや成長していることに気付いている。	夏野菜を栽培する活動を通して、夏野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけている。	夏野菜を栽培する活動を通して、夏野菜への親しみをもち、植物を大切にしようとしている。
小単元 における 評価規準	1	①夏野菜の特徴, 変化や成長の様子に気付いている。		①おいしい夏野菜を育てたい, 食べたいという思いや願いをもって, 夏野菜の世話をしようとしている。
	2	②それぞれの夏野菜に合った苗の植え方や世話の仕方があることに気付いている。 ③夏野菜を適切な仕方で世話をしている。	①それぞれの夏野菜の変化や成長に着目したり, 世話の仕方を見直したりしながら, 世話をしている。	②おいしい夏野菜を育てようと, 夏野菜の様子に合わせて, 継続して世話をしようとしている。
	3	④夏野菜への親しみが増し, 上手に世話ができるようになったことに気付いている。	②夏野菜の世話を振り返りながら, 世話をした気付いたことや夏野菜への思い, 自分自身の成長を表現している。	③夏野菜を上手に世話できたことに自信をもったり, 夏野菜の収穫の喜んだりし, 収穫した野菜を大切にしようとしている。

4 基盤

- (1) 本単元では、自分で選んだ夏野菜を1人1鉢で栽培する活動を行う。夏野菜の栽培活動を通して、自分で栽培している野菜にどのような変化があるのか、どのように成長していくのかなど、夏野菜に対して、親しみや期待の目で見つめ、心を寄せながら世話ができることや、1年生の頃よりも上手に植物の世話ができる自分に気付くことができるようになる。そして、その過程で、自分と野菜が同じように生命をもっていることや成長（成長）していることに気付き、一層大切に世話をしたり興味を深めながら観察したりし、対象への思いを高めることを目指している。

苗を植え、世話をし、収穫する過程を自分の責任で行うことは、野菜に愛着をもち、心を寄せて世話をしたり、野菜の生命を大切に感じたりすることにつながると考える。

- (2) 本学級の児童は、1年生のときに、アサガオを1人1鉢で栽培する活動を行っている。芽が出て、つるがのびて、葉が増えて、つぼみができて、花が咲くという一連の成長を観察し、天気や土の様子を見て水やりをすることは経験している。また、各家庭や幼稚園、保育園でも花や野菜を栽培した経験のある児童がほとんどである。

しかし、野菜の栽培を1人で最初から最後までやり遂げた経験をもつ児童はほとんどいない。また、野菜には種をまいたり、苗を植えたりする時期が決まっており、夏に育てられる野菜が限定されること、鉢で育てることのできる野菜も限定されることを意識している児童も少ない。事前に栽培してみたい野菜を聞いた時には、「大根」「トウモロコシ」「かぼちゃ」など、夏野菜ではないもの、鉢での栽培に向かないものをあげる児童もいた。

一方で収穫した野菜をどうするか尋ねたところ、「自分で食べる」だけでなく、「家族にあげる」「ペアの1年生にあげる」と他者意識をもって育てようと考えている児童もおり、自分と野菜、まわりの人との関わりを大切にする姿が見られた。

- (3) 本単元では、一人ひとりが自分の野菜に思いや責任をもって栽培する活動を通して、野菜の成長に興味をもち、愛着を深めて、上手に野菜の世話ができることや、野菜の成長とともに自分自身も成長していることに気付くことができるようにしていきたいと考えている。

第一次では、まず、野菜のクイズを行うことで、野菜によって栽培する時期や場所、栽培方法が決まっていることを自分たちで調べられるようにする。そうすることで、栽培する時期や場所、栽培方法が限定されることを知り、実際に栽培する野菜を適切に選択することができるであろう。苗を選択する際に「育ててみたい」「食べてみたい」という児童の願いや思いを引き出すことで、自分で責任をもって栽培することを継続することができるのではないかと考える。

第二次以降も自分たちで育て方を調べながら世話をしていく。ただ、図鑑だけでは難しい面もあるので、苗を植えるときに来ていただく、地域で農園を営んでおられる方を野菜作り名人として紹介し、収穫までに困ったことがあったら、聞くことができるということを伝える。そうすることで、野菜の世話をしながら困ったことがあった時に、自分から解決しようという思いになり、野菜に対する愛着もより強くなると考える。また、継続して観察カードをかくことで、野菜の成長に対する気付き、友だちの野菜との違いへの気付き、自分の野菜の世話に対する気付き等が生まれると考える。

第三次では、まず、自分の野菜の世話の仕方について振り返る。観察カードをもとに、栽培した野菜や自分自身への気付きを話し合う。話し合いの際には、野菜の変化や成長だけでなく、1年生の時と比べて、植物の世話が上手になった自分自身にも気付くことができるようにしていきたい。そして、収穫した野菜をどうしたいか話し合い、収穫に対する期待を膨らませることができるよう

にしたい。

本時では、まず、1年生のときに使用していた鉢を提示し、植物の栽培に対する思いを膨らませていきたい。そして、その思いをさらに高めるために、野菜クイズを行う。その際に、それぞれの野菜は、「いつ」「どこで」「どのように」栽培することができるのかを自分たちで調べることができるようにする。そうすることで、次時に自分が栽培する野菜を選ぶときに適切な野菜を選ぶことができることにつながると考える。

5 展開と評価計画（全7時間）

次	時	◎ねらい ○学習内容	◇評価規準 ◆評価方法
第一次	1 本時	◎どんな野菜が育てられるか考える。 ○これまでの栽培経験を思い出したり、夏野菜クイズをしたりして、どんな夏野菜が育てられるか考える。	◇主① ◆発言内容、ワークシート
	2 課外	◎自分が育てたい野菜を決める。 ○なぜその野菜が育てたいと思ったのか理由を考え、育てる野菜を決める。 ○決めにくい場合には、家族と相談する。（課外）	◇知・技① ◆発言内容、ワークシート
第二次	3 4	◎夏野菜の植え方を野菜名人さんに教えてもらって苗を植える。 ○それぞれの夏野菜に合った植え方、世話の仕方があることを知る。 ○自分の鉢に苗を植える。 ○水やり等の世話をしてみる。	◇知・技② ◆行動観察、発言内容 ワークシート
	5 課外	◎夏野菜のお世話をする。 ○野菜名人さんに教えてもらったことや自分で調べたことをもとに、夏野菜の世話をする。（課外含む） ○野菜の成長を観察カードにかく。 ○気づいたことを日記に書く。（課外）	◇知・技③ ◆行動観察、ワークシート 日記内容 ◇思・判・表① ◆行動観察、発言内容 ◇主② ◆行動観察、ワークシート 日記内容
第三次	6 7 課外	◎夏野菜のお世話を振り返る。 ○これまで夏野菜の世話をし気付いたことを話し合う。 ○観察カードや話し合いで気付いたことを本にまとめる。 ◎夏野菜の収穫をする。 ○とれた夏野菜をどうしたいか話し合う。 ○収穫をし、その感想を書く。	◇知・技④ ◆発言内容、ワークシート ◇思・判・表② ◆発言内容、ワークシート ◇主③ ◆発言内容、行動観察 ワークシート

6 本時の学習

(1) 本時の目標

野菜クイズを通して、野菜の育ち方に興味をもち、これからどんな野菜が育てられるか考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)

(2) 展開

学習場面と子どもの取組	教師の支援と評価
<p>1 1年生のときに使っていた鉢を見せて、これから何を育てたいのか、考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・また、お花がいいな。 ・2年生が野菜を育てていたよ。 ・わたしたちも野菜を育てたいな。 <p>2 これまでの野菜を育てた経験を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑できゅうりを育てているよ。 ・おばあちゃんの庭でトマトを植えたよ。 ・去年、2年生と一緒にサツマイモを植えたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年の様子を思い出しながら、何を育てるとよいか考えられるようにする。 ・昨年の2年生の苗植えの様子の写真を見せ、想起しやすくなるようにする。 ・意見が出にくいときには、昨年度のサツマイモを植える写真を見せたり、10連休中に野菜の苗を植えた日記を読んだりする。
<p>どんな野菜が育てられるか考えよう。</p>	
<p>3 野菜クイズをしよう。</p> <p>①野菜の断面クイズをしよう。(絵本「やさいのおなか」)</p> <p>②これらの野菜は、どんな風にできるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苗が育って、そこに実ができる。 ・木が生えて、そこに実ができる。 ・土の中にできる。 <p>③これらの野菜はいつごろ食べられるでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏によく食べます。 ・冬に美味しいよ。 ・春にできるね。この前食べたよ。 <p>4 これからどんな夏野菜が育てられるか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏に食べられる野菜なら、トマトが育てられそうだよ。 ・調べたら、夏にはなすびもいいみたいだよ。 ・本当は大根がよかったけど、冬の野菜みたいだね。 ・かぼちゃが好きだけど、鉢では難しそうだな。広い場所じゃなきゃダメだね。 ・これから育てる野菜は「夏に育てられるもの」「鉢のような小さい場所でもできるもの」を選ばないといけないね。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「やさいのおなか」という絵本の読み聞かせを通して、野菜への興味・関心を高める。 ・いくつかの実物を用意しておき、児童たちが野菜の育ち方を意欲的に考えられるようにする。 ・自分たちでクイズに答えられるように、絵本や図鑑を用意しておき、調べられるようにする。 ・自分で調べることがむずかしい児童には、情報がしぼられたプリントを用意し、一緒に探して、情報を探すコツをつかめるようにする。 ・クイズで調べたことを生かすことで、児童が育てる場所、時期にあったものを選べるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>評価【主体的に学習に取り組む態度】 進んで野菜について調べ、どんな夏野菜が育てられるか考えている。(発言、野菜クイズカードの分析)</p> </div>